

東京片貝会報

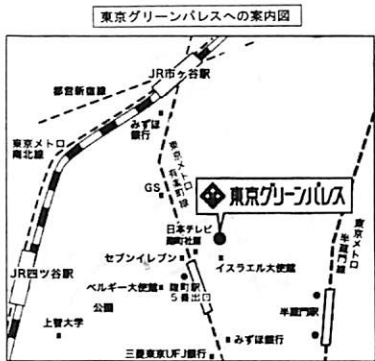
発行 東京片貝会
責任者 佐藤祐一 事務局 黒崎勝
〒252-1132 綾瀬市寺尾中39-24
電話 0467-76-3154

楽しく新春の集いを 新年会御案内

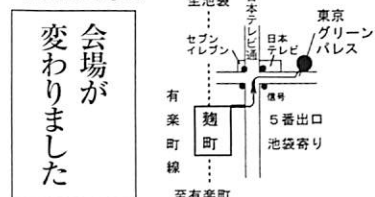
新春を、お健やかに迎えのことと存じます。
会員皆様のご健康と益々の発展を祈念しまして、
新年会を開催致します。本年の会場は、麴町駅に近い「東京グリーンパレス」で開催します。
初めての会場ですが、皆様お誘い合せて、多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

日時 平成20年1月27日(日)午後一時(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス
(全国市町村職員共済組合連合会)
電話 03・52110・4600
会費 七、〇〇〇円
お願い 返信は1月11日(金)までをお願いします。



東京グリーンパレスへの案内図
・東京メトロ有楽町線 麴町駅(番町出口5)徒歩1分
・JRまたは都営地下鉄新宿線、東京メトロ南北線 市ヶ谷駅 徒歩7分



会場が
変わりました

会の動き

理事会

於：かんぼヘルスプラザ 5/27
佐藤会長以下16名
・会報発送 約八百部
・総会打ち合わせ

第48回総会

6/24
於：かんぼヘルスプラザ
出席者103名
会員83名、片貝来賓20名
(二面参照下さい)

片貝祭厄年の会へ寄贈 9/9
片貝まつり、成人、33才、
42才、50才、還暦
伝統芸能保存会
清酒二本ずつ寄贈

片貝祭奉納

9/10
黒崎副会長 出席
相撲場機敷で会員観覧
小雨の中、10名が参加
(例年機敷二柵を申し込
み祭り場での会員の懇親
の場としています)

片貝中学校60周年式典

10/14
参加・教育講演会
於：片貝中学校
出席者 佐藤会長以下
7名参加

片貝まつり

「みんなの絆、心の花火」

浅原神社秋期大祭の片貝まつりが、九月九日、十日奉納花火大会を中心に開催された。

片貝まつりは、すっかり有名となり、外部から訪れる人も多く、二日間の人出は、十八万人と発表された。

九日は、朝から好天に恵まれ、十日は小雨であったが、打ち上げ時刻になると雨も上がり、両日世界一の四尺玉が見事に開花した。

九日の大スターマインには観覧者全員が立ち上がったの拍手が鳴りやまなかった。また十日の四尺玉は、昨年続き、成人へのお祝いと励ましを込めて町民一同による奉納であった。



片貝の花火は、江戸時代から始まり、明治11年に、尺玉、明治16年から仕掛け花火など打ち上げ、明治21年世界初の三尺玉を、そして昭和60年世界最大四尺玉を成功させ、ギネスブックに登録された。

観客数は、年々増加し、町内は飽和状態近くになっている。一柵三万円の機敷席、二〇六〇柵も早々と予約完売の人気である。

車両の渋滞が昨年問題となったが、今年は関係者の協力で、スムーズに進行されたとのことである。片貝の花火で帰省の時は、車の乗り入れ、ゴミの持ち帰りなどのルールを守りましょう。

教育講演会

講師 安達 靖氏
(二面参照下さい)
於：東京グリーンパレス 11/11
佐藤会長以下16名参加
・励ます会講演会報告
・新年会 打ち合わせ
・50周年記念関係

片貝中学校創立60周年記念式典開催

片貝中学校創立60周年記念式典は、十月十四日、中学校体育館で開催された。
式典は、記念式典、記念講演、記念合唱、吹奏楽演奏のプログラムで行われた。



式典のお祝いの言葉の中で川上東陽協議会長は、「片貝は、教育に対する情熱が高く小学校の間借りスタートから晴れて新校舎建設時には、教職員生徒、丸となって建設作業に関わった」とする先輩諸氏の懐古談から、戦後の復興、向学心が伝わり胸の熱きを感じます」と述べられた。
記念講演は、例年開催している母校を励ます会主催の教育講演会が、組み込まれ西成

第48回東京片貝会総会

肩を組み「木遣り」
を元氣よく

平成19年6月24日
かんぽヘルスプラザ東京

東京片貝会第48回定期総会は、六月二十四日今回で最後となる「かんぽヘルスプラザ東京」の会場で、会員83名、片貝からのご来賓20名の計103名の参加で盛大に開催された。司会はお馴染みの芝強氏(38)内藤富美子氏(43)のお二人で、開会の辞を黒崎勝副会長(28)が故郷からのご出席と、長年(八年間)のヘルスプラザのご協力に感謝され、楽しい会を、挨拶されて開会となった。



佐藤祐一会長(27)の挨拶では、「今回も、100名を超す人数で盛大に開催でき、会員、ご来賓のご出席に感謝します。総会のための役員会を二回開催し、15、16人が出席され、式次第や案内状、会報の袋話などを行って頂き感謝しています。組織は、楽しい、役に立つなどの仕掛けが無いと成り立たないと思うが、皆様が大勢参加されるように努力したい。二年後の6/27に50周年記念のパーティーを計画しており、それに向かって打ち合わせを始めている。皆様のご協力をお願いします。」



続いて、会計報告が、諸我時夫会計(32)からなされ、監査報告は、木下監査が欠席のため司会者の代読で承認された。母校を励ます会の報告と、図書費の贈呈は、本田秀幸会長から、「昨年のご寄付は、187名の方から頂き感謝します。また、今年の教育講演会は、中学校創立60周年記念式典のプログラムの中で西

成会の安達靖氏が講演されました。」と報告があり、続いて図書費の贈呈で、仲邦男小学校長、佐藤信中学校長へ、各々十万円を贈呈した。

第二部懇親会は、ご来賓の紹介の後、代表されて川上東陽片貝協議会長の挨拶があり、「東京片貝会からは、故郷のために大変な力を頂いている。協議会も町の活性化のために頑張っている。町はずいぶん寂しくなっている。また、地震の片づけは、ほぼ終わった状況であるが、ご支援を頂き感謝している。もう少しで50周年とのこと、会が末長く続き、盛会でありますよう祈念します。」と述べられた。

続いて、小千谷市谷井靖夫市長からの祝電の披露があった。乾杯は、新潟の地酒を盃に、阿部前会長の力強い音頭で、懇親会に入った。

アルコールと料理で、口も滑らかなった所で、ご来賓の方から挨拶を頂いた。その後、片貝芸能保存会のシヤギリは、みちびき、おけさ(道中木遣り)を始め沢山の演奏があり、片貝まつりの雰囲気会場一杯に広がり、みな故郷を想い感動の声があがった。宴も盛り上がり、自慢のノドでのカラオケ大会全員合唱で「ああ上野駅」、昔を思い出して「小学校校歌」「中学校校歌」を歌い、恒例のこれぞ片貝人の「木遣り」を、全員舞台上がり、肩を組み片貝へ届けとばかり大きな声で歌い、宴はクライマックスに達した。

惜しい中、吉井陽様のご発声で万歳三唱が行われ、閉会の辞は安達弘之副会長(30)が大勢参加して頂き盛大に開催でき感謝の言葉と保存会の方の参加で、故郷を堪能でき幸せを頂いた。このような楽しい会があることを、教えあい、次回も沢山のご参加を願っています。と締められ、本年の総会はお開きとなった。

- 【総会出席者氏名】(敬称略)
 - 〔昭和21〕 浅田鐵
 - 〔昭和21、20〕 黒崎良子(代理雅仁)、黒崎音吉、佐藤ヨシ、阿部源二、山岸慶昭、本田ユキ、桜井照子、松下利夫、浅田栄三、石井ユリ、上田益美、江澤キヨ、氣田登美、小宮幸雄、佐藤昭六、中島ヨシ、西山和子、星シズ、山口光雄、吉原俊六
 - 〔昭和21、30〕 安達和幸、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、清水好男、高野賢、浅田義男、大塚順、忍足良子、神林佳子、豊島文枝、吉原新作、長岡利夫、小嶋ミツ子、横山忠平、石川春子、溝手俊、佐藤祐一、塚原浩治、松岡規子、吉原靖子、相内テル、奥瀬洋子、黒崎 勝、吉原武夫、松本キイ、宮下愛子、吉井 均、安達弘之、神林靖夫
 - 〔昭和31、40〕 大塚國夫、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝満雄、藤塚 悟、黒崎玲子、諸我時夫、渡辺千香子、安達弘、井上知子、神林省三、吉井有時、五十嵐哲郎、上藤イツ、芝 文夫、山家忠美子、鈴木映子、本田秀幸、吉原敏明、芝 強、重堀國治、佐藤正志、相崎俊夫
 - 〔昭和41、50〕 太刀川和雄、安達徹、小林和弘、西沢 薫、内藤富美子、吉井 安、徳永隆浩
 - 【ご来賓出席者名】(敬称略)
 - 川上東陽、友田明石、吉原均、佐藤 信、仲 邦男、安達隆、吉原裕三、根本 忠、安達富弘、山口広幸、吉井 陽、名塚孝一、安達 学、岡村和雄、神林誠一、小林満夫、佐藤二、佐藤正敏、太刀川敏郎、山口敏郎
 - 【ご祝儀者名】(敬称略)
 - 川上東陽、友田明石、吉原均、佐藤 信、仲 邦男、安達隆、吉原裕三、根本 忠、安達富弘、山口広幸、吉井 陽、名塚孝一、安達 学、岡村和雄、神林誠一、小林満夫、佐藤二、佐藤正敏、太刀川敏郎、山口敏郎

村和雄、神林誠一、小林満夫、佐藤二、佐藤正敏、太刀川敏郎、山口敏郎

【寄付金者名】(敬称略)
東京片貝会へのご寄付を頂きました。御礼を申し上げます。(日19年4月16日から10月末)

石黒スミ、日下部政子、芋川トシ、丸山 春、小宮繁雄、川村朝子、内山キミ、太刀川三郎、小野塚五郎、桜井照子、小嶋京子、松田フミ、長岡利夫、本田文夫、新澤須美、長沢愛子、守屋ヤウ、浅田京子、久賀友作、安達 隆、吉原武夫、黒崎 勝、鈴木アヤ子、重原文明、大塚功純、井上知子、浅田辰信、安達芳治、太刀川三雄、寺町明美、谷内弘、黒崎 修、松井正之、阿部修次、大塚順一、芝 満男、和進級友会

東京和進級友会より「寄付金」
東京和進級友会(19年小卒)の皆様から、30数年間続いた集まりを終わりにしたということで、会の残金をご寄付頂きました。

東京片貝会 会費
会費は、年、〇〇〇円とさせていただきます。お返しは、年、〇〇〇円とさせていただきます。会報と同封される郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。母校を励ます会は、三面をご参照下さい。

第25回 母校を励ます会講演会

【一瞬の美しさに魅せられて……】

安達 靖氏 (昭和45年卒 西成会)

平成十九年十月十四日 片貝中学校にて

第25回教育講演会は、片貝中学校創立60周年式典の記念講演として開催された。

講師は、東芝エリイマーケティンク(株)新潟支店長の安達靖氏で、ご専門のパソコンを用いられ、式典に相応しい花火の話を入れ、「ワーク・ライフ・バランス」として講演された。

片貝中学校では、体操部に所属したが、高校で三ヶ月でやめてしまい、続けて一つずつクリアすれば良かったと反省している。小千谷高校を卒業して入社したが、仕事に自信があるのに、大卒に追い越され、必死で努力した。一九九五年の「ウインドーズ95」発売の時に、会社にパソコン専門部隊が作られ、配属となり、パソコンの勉強をし、情



報管理の責任者となった。

東京パソコン事業部では、全国を対象とした職場で、いろいろな人と知り合い現在も続いている。沢山の人と会い良いところを吸収して下さい。

趣味は「花火」であり、ホームページ「片貝まつり迎賓館」を公開している。片貝まつりを紹介するHPが無かったことで立ち上げた。HPを発端に、全国の花火好きなメンバーが集まり「片貝奉納煙火愛好会」を作り、片貝まつりに花火を奉納している。

また全国の花火大会を見て廻っている。鶴岡・赤川の花火、土浦、大曲の花火(ビデオで紹介)それぞれの歴史、背景、特徴がある。新潟県の花火大会は、40ヶ所もある。柏崎(海)長岡(川)片貝(山)が越後三大花火と言われる。

片貝の花火は個性があり、町民も親切で評判が良い。片貝に生まれて良かった。

「仕事をやって、よく花火を見に行けるね」と言われるが好きなのであり、「ワーク・ライフ・バランス」を図っている。仕事だけでなく趣

味も楽しむことで、スッキリした頭で仕事に集中でき、新構想も出てくる。自分の時間管理、自己管理で能力を磨くことが必要で、勉強とスポーツの両立も同じである。

(片貝まつりの50才の同級生写真ビデオを紹介)同級生は有り難い、いろんなところで助けてくれるのは同級生であり友達である。友達を大切に。式典参列の大勢の人達から、大きな拍手を頂き、生徒代表から花束贈呈があった。佐藤校長から御礼の言葉があり終了した。

「母校を励ます会基金協力者氏名」(敬称略・順不同)

- (H19・4・16、H19・10・31)
- 芋川トシ、寺町明美、川村朝子、浅田辰信、小野塚五郎、守屋ヤウ、木下哲夫、太刀川三郎、日下部政子、浅田京子、松田フミ、小嶋京子、丸山 春、黒崎 修、黒崎 正、重原文明、安達芳治、藤塚文顕、長岡利夫、小宮繁雄、石上俊夫、井上知子、折原尚子、谷内 弘、太刀川三郎、大塚功統、新澤須美、久賀友作、安達隆、桜井照子、吉原新作、吉原武夫、松井正之、鈴木アヤ子、高橋剛夫、長沢愛子、黒崎良子、黒崎音吉、本田ユキ、松下利夫、浅田栄三、石田ユリ、小宮幸雄、星 シズ、山口光雄、安達和三、阿部修次、神林勝夫、黒崎晴郎、佐藤安治、佐藤祐一、藤塚浩治、松岡規子、相内テル、奥瀬洋子、

黒崎 勝 安達弘之、神林靖夫、大塚国夫、小野塚清、黒瀬良子、小宮善興、芝 満雄、藤塚 悟、諸我時夫、渡辺千香子、安達弘、五十嵐哲郎、上藤イツ、山家恵美子、鈴木映子、本田秀幸、吉原敏明、芝 強、佐藤正志、相崎俊夫、安達 徹、西沢 薫、内藤富美子、徳永隆治

図書費贈呈総会でのお礼

本年の図書費は、総会で本田母校を励ます会会長から、仲小学校校長、佐藤中学校長へ贈呈された。贈呈後にお礼の言葉を頂いた。(一部割愛)

佐藤中学校長から「十月に創立60周年式典があります。四月からお世話になっていますが、子供達が活き活きと活躍し素晴らしい学校にきたこの時からのつながり、同級会、東京片貝会、同窓会、父兄、地域の大きなつながりだと思ふ。素晴らしい学校にきたことに感謝し、努力したい。」

仲小学校長から「四月から片貝にきましたが、母校を思う気持ちの入った図書費に感謝。小学校は全校でクラスで昔に比べると大変少なくなつたと感じられるでしょう。今、小学校卒業までに100冊の本を読む運動を進めており、100冊の推薦図書を進め順次補充している。本日は、48回も続く総会を楽しみにしています。」

片貝人物小伝

新野家の人達

四ノ町にあった新野さん(文助)をご存じの方は多いと思います。今回は新野家の人達を紹介致します。

新野家は其の昔佐藤家に務めていた人が、源次郎川の清水を用い、延命酒の製造を行ったのが初代と言われる。代々造り酒屋で、大地主でもあり、現在の四ノ町の田、畑、山林を保有していたと言う。

新野文一郎(文甫)は、文教に大きく貢献した先覚者で文政八年(一八二五)生まれで、明治十九年(一八八六)に亡くなっている。文一郎は朝陽館に先生不在の時、自宅で学塾を開いた。出身者の一人に子爵石黒忠恵軍医総監がいる。新野翁から医者になるよう勧められたのが軍医になるきっかけだったと言われている。

また、「やせかまど」とならび片貝の貴重な文献とされる「鎮守一王子大権現記」を安政五年(一八五八)に著述されている。この文献は浅原神社の社殿移築を中心に、その前後の様を克明に記述されている。

文一郎の孫に、初、亮太郎姉弟がいる。初は明治二十年春、一人わらじ履きで、上越国境の三国峠を徒歩で越え、高崎から

汽車で東京へ出た。この時、十四才であった。東京で跡見塾(現 跡見学園女子大学)に入り、その後お茶ノ水の女子高等師範学校へ転入され女高師に進まれ、卒業後、大阪、京都で教鞭をとられた。この賢明な女丈夫こそ、世界医師会会長となられた武見太郎博士のご母堂である。武見博士からは、東京片貝会報第三号(昭和四十年)に「母の憶い出」として、日本の良い家の伝統を教えてくださいと、長文の文章を頂いている。

亮太郎は、昭和十年頃、「やせかまど」の原本の写し書きを依頼、作成している。「新野本」と言われる。「やせかまど」は、片貝の庄屋太刀川喜右衛門が、文化文政時代を中心に片貝の年中行事、当時起きたことなどを著したもので、貴重な文献と認められている。写本は他に一部現存している。写本が作成されたことで、貴重な資料は、今に生き続けることとなった。「新野本」は、平成七年、新野家から、「将来の所在を確かにしておきたい」との意向から、小千谷市立図書館へ寄贈された。

新野文一郎の筆塚は、水沢の山の中腹に門人達により、明治十四年(一八八一)に建立されたが、平成十六年の中越地震で損傷し、翌年取り外された。

(敬称略)

ふるさと・は・今

H19年6月から
H19年11月まで

母校近況

■小学校

わんぱく相撲小千谷場所

第21回わんぱく相撲小千谷場所が、5/12総合体育館で小学生170名の参加で開催され、片小は男子の部で一名、女子の部で三名が入賞した。また、化粧まわしコンテストで一年生の内山ありさんが金賞を受賞した。

小学校親善水泳大会

第40回小学校親善水泳大会は、8/4開催され、神林将太郎が100m自由形、50mバタフライ、黒崎明日香さんが200m個人メドレーで優勝したのを始め他の四種目でも優勝があり、日頃の頑張りが発揮された。ジュニア親善陸上競技会

第24回小千谷ジュニア親善

協議大会が8/19開催され、男子の部では、吉原佳祐君が100m、150mで、チームとして400mリレーで優勝、女子の部では、小野塚芽香さんが800mで優勝し、他の競技でも上位入賞者が多く、大活躍であった。

お年寄りと子供のゲート

第24回片貝町老人クラブ・子供会交流ゲートボール大会が、8/25開催され町内別チームが参加、小学生三名が常時出場のルールで、みんな仲

良く楽しい大会となり、四之町チームが優勝した。

発明工夫・模型工作展

第19回小千谷市立小中学校発明工夫・模型工作展が開催され、約240点の出品の中で、模型工作の部金賞に、黒崎君さんが空缶のプルトップを材料にした「白金鯉」プラチナ鯉」が選ばれた。他にも優秀賞、銀賞、銅賞、佳作と大勢の子供達が入選した。

科学作品展覧会

第43回小千谷市児童生徒科学作品展覧会が開催され、動物標本の部で、高橋幸樹君が「チョウの標本」で、山口絨君が「月ことのちょう」で金賞を受賞した。一生懸命やったことが評価された。

片貝小で命の授業

家庭教育支援総合推進事業の一環として、9/21PTA研修会が片貝小で開催された。小学生四年生以上139名、PTA会員が横濱の小澤院長の「家庭での命の教育」をテーマに、限られた人命の病棟ホスピスを通して得た「命の大切さ」の講演を熱心に拝聴した。

■中学校

市内陸上競技大会

第54回市内中学陸上競技大会は、6/6白山会場で開催

された。ジュニアの部で、150mで丸山普君が優勝、100mで佐藤知君が二位で、今後の活躍が期待される。

市内球技大会

市内中学校球技大会が6/13、14の両日開催された。

女子バレーボール

優勝 女子卓球団体 準優勝

個人 一位(四位)独占

バスケットボール 三位

男子卓球団体 三位

野球 三位

今年のバスケットボールは谷中が県大会で優勝する強豪であった。片中は、人数は少ないながら頑張っている。

わたしの主張地区大会

平成19年度新潟県少年の主張大会の小千谷地区大会が8/23開催され、久賀玲奈さんが奨励賞を受賞した。

創立60周年記念

片貝中学校創立60周年記念式典は、10/14体育館で開催され全員で記念合唱「ウイズユースマイル」と吹奏楽部の演奏「千の風になって」他、曲を披露し、記念式典を盛り上げた。

小千谷市四市三郡

中学生新人大会

バスケットボール 優勝

バスケットは、谷中を敗り

優勝、球技部の来シーズンの大いなる活躍を期待し、応援しましょう。

町政だより

小千谷市議会吉原議長体制に

市議会議員選挙後初の議会に、片貝出身の吉原正幸氏が議長に選出された。議長は、度目であり、市勢発展に尽力したいと抱負を語った。

J A 越後おぢや友田氏続投

J A 越後おぢや新役員は、理事などの互選により決まり片貝出身の友田明石氏が代表理事組合長に選ばれ続投となった。平成十六年度から現職で任期は三年である。

片貝ウォーク盛大に250人

第11回片貝町健康ウォークは、5/13片貝小グラウンドから12キロのコースで開催された。町外からの参加もあり、250人が歩き、ゴール後とん汁のサービスがあり、昼食、ビールなど楽しいウォークとなった。

花母茶オープン・畑のおみせ

鴻巣の農家四軒で組織する「花母茶」が6/10オープンした。今年で九年目で、常連客も多い。野菜、手作りパン、ユリ球根などを販売し、片貝小の給食に毎月、回程、新鮮野菜を提供している。

ホタル鑑賞会*水沢緑公園で

緑公園水沢推進協議会(会員80名)は、ホタルの鑑賞、勉強会を6/16夕方行った。中越大地震翌年の夏は蛍が見られなかったが、昨年から再

び姿を見せるようになった。皆さんもいかがですか。

中越沖地震襲う

7/16午前10時13分、上中越沖を震源とした「中越沖地震」が発生した。小千谷市は、震度6弱を記録した。ライフラインには異常なかったが、片貝では一部壁や天井板の落下や、防火扉が開いたり、学校の図書が散らかったりしたが、大きな被害がなく何よりだった。

かたかい夏物語

'07かたかい夏物語(片貝商工振興会主催)が、8/4之町を歩行者天国とし開催された。盛り沢山の催し物と模擬店、そして買い物客に抽選券を発行し景品は、等に片貝まつり打ち上げの尺玉花火、その他七号玉、五号玉。午後九時に七号玉を打ち上げフィナーレとなった。

片貝地区交通事故発生

8/19片貝町の市道五之町八島線の信号機のない交差点で、原付バイクと軽自動車衝突。バイクの運転者が、頸椎骨折などにより死亡した。

また、6/13沼田地区内の県

道のT字路交差点で、片貝小一年生の男児が乗用車に撥ねられている。車で帰宅時は、交差点を始め運転に注意しましょう。

老敬会開催

片貝地区敬老会は、10/7片貝小学校で開催され、対象者760名で、祝辞と踊り、演奏、木遣り、遊技などの演芸が行われた。米寿は17名で、市長から褒状と祝葉子が贈られた。市内の最高齢者は、片貝五之町の佐藤益美さんの百五歳である。

長谷川きよさん

新県議に鴻巣出身の長谷川きよさんは、立候補者が長谷川きよ候補(58歳)一人のため、無競争で当選が決まった。長谷川さんは鴻巣出身、小千谷西高卒。平成十一年から八年間、市議を務めた。市民の声を県政に届けるパイプ役として務めたいと語った。任期は、十一年四月まで。

池田屋本村社長御逝去

之町の池田屋社長の本村要之輔さんは、10/14入院先の魚沼病院で膀胱ガンのため死去された。五十一歳。小千谷高校卒業、修行後四代目となり、伝統を守りながら商品開発に熱心であった。当会にも二協力を頂きました。ご冥福をお祈りします。

あとがき

中学校式典の帰り、裏山から見た東山は、秋雲と共に「故郷の秋」一杯でした。新年会お待ちしております。小宮